

ナンバリング		授業科目名(科目の英文名)					区分・【新主題】 / (分野)		授業形式			
AM12Z301		早期体験実習(Introduction to Clinical Practice) *大分を創る科目					導入教育科目 福祉・地域		対面			
必修選択	単位	対象年次	学部	学期	曜・限	担当教員						
必修	1	1年	医学部医学科	通年		氏名 医学教育センター：山本、総合内科学：宮崎、医療倫理学：今井 E-mail kyoko-yamamoto@oita-u.ac.jp 内線 5106						
授業の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・早期から様々な医療行動科学を学習・理解し、6年間でそれを実践できるようなコミュニケーション力・人間力を自ら育成しなければならないという意識を持つ ・自分の力で課題を発見し、自己学習によってそれを解決するための能力を獲得する。 ・患者に生じた健康問題を明らかにし、対応を意思決定するために、問題点を予測し、論じることができる。 											
具体的な到達目標	DP等の対応(別表参照)											
目標1	基本的な医療面接を行うことができる。	○										
目標2	シミュレーターを使い、異常な心音、異常な呼吸音を聞き分けることができる。	○										
目標3	基本的診療知識に基づき、症例に関する情報を収集・分析できる。	○										
目標4	得られた情報を基に、その症例の問題点を抽出できる。	○	○									
目標5	必要な課題を自ら発見できる。							○				
目標6	課題の解決に当たり、他の学修者や教員と協力してよりよい解決方法を見出すことができる。		○					○				
目標7	コミュニケーションを通じて良好な人間関係を築くことができる。		○									
目標8	地域社会における医療の現状、医師の偏在の現状を概説できる。							○				
目標9												
目標10												
授業の内容												
1 医療面接入門 医療面接の基本：今井												
2 臨床推論入門① チュートリアル：山本												
3 臨床推論入門② 発表会：山本												
4 チュートリアル+医療面接+スキルスラボ実習（血圧測定、心音、呼吸音の聴診）：医学教育センター												
5 臨床推論入門③ チュートリアル：宮崎・山本												
6 臨床推論入門④ チュートリアル：宮崎・山本												
7 臨床推論入門⑤ 発表会：宮崎・山本												
8												
9												
10												
11												
12												
13												
14												
15												
ラーニング ポイント グループ	A:知識の定着・確認 B:意見の表現・交換 C:応用志向 D:知識の活用・創造	○ PBL（問題解決型学習、チュートリアル）形式のアクティブラーニングを行い、その成果を発表する。 ○ シミュレータや学生同士の相互実習（模擬診療、血圧測定等）による体験型学習を行う。					工夫 その他	LMS(Moodle)の活用				
時間外学修 の内容と時間 の目安	準備学修 事後学修	チュートリアル学習法、基本的な医療面接、胸部診察法および血圧測定の方法について、事前にe-learningを行う（5h） 関連書籍や資料を用いて復習を行う（3h） グループ討論後に発表会の準備を行う（5h）										
教科書	福井次矢・奈良信雄 編、内科診断学 第3版、医学書院、2016年											
参考書	佐伯由香 編訳、トートラ 人体解剖生理学、丸善出版、2017年 犀川哲典・小野克重 編、シンプル循環器、南江堂、2015年											
成績評価 の方法 及び 評価 割合	評価方法	割合	目標 1	目標 2	目標 3	目標 4	目標 5	目標 6	目標 7	目標 8	目標 9	目標 10
	グループ討論と発表	50%			○	○	○	○	○	○		
	実習態度	20%	○	○					○			
	レポート	30%			○	○	○	○		○		
授業時間の3分の2以上の出席がなければ、単位は与えない。 早期体験実習（前期）と併せて総合評価を行う。												
注意事項	チュートリアル室とスキルスラボセンターでは、使用規則を遵守すること。 事前学習をして授業に臨むこと。レポートは期限内に提出すること。											
備考	授業の詳細、PBLの班分けはコース開始前に通知する。 グループ討論と発表会を含めて、オンライン授業になる可能性がある。											
リンク	Moodle URL											

担当教員の 実務経験の 有無	○
教員の実務 経験	医師として臨床診療を行っている。
実務経験を いかした教 育内容	総合内科専門医、家庭医療専門医、循環器内科専門医として、基本的な医学的知識および診察方法を指導する。

